

# 健康 わんだーらんど Wonder Land



健康増進センター広報誌『健康ワンダーランド』です。今回は“検尿の必要性”について取りあげてみました。

## 健康診断における“検尿”の必要性について

佐世保中央病院 腎臓内科 医長 森 篤史

どうして健康診断で検尿を行なうのでしょうか？

学校検診・職場検診・住民検診・メタボ検診・妊婦検診など検診では必ず検尿が実施されます。これは尿を作っている腎臓と尿の通り道である泌尿器の異常をいち早くとらえたいからです。

では腎臓はどんな働きをしているかというと、老廃物を濾過する・水分(体液)の調整・電解質(塩分などのミネラル)の調節・酸性アルカリ性の平衡を保つ・赤血球をつくる造血ホルモンの産生・ビタミンD活性化(骨・カルシウムなどに影響)・血圧の調節など多岐にわたっています。

それゆえ、テレビ・新聞などでも第二の国民病「慢性腎臓病(CKD:Chronic kidney disease)」は注目を集めています。では慢性腎臓病になるとどうして問題になるのでしょうか？

### ● 慢性腎臓病(CKD)と心血管疾患との関連性

図1を見ると分かりますが、慢性腎臓病があると心血管疾患の発症が高くなっています。

報告によっては、慢性腎臓病のある方は心筋梗塞や脳卒中での死亡の危険性が3倍になるとも言われています。このような腎臓病をいち早くとらえることができるのが検尿です。

実際の検尿では多くの情報が得られますが、その中でも重要なのが、尿蛋白・尿潜血・尿糖です。

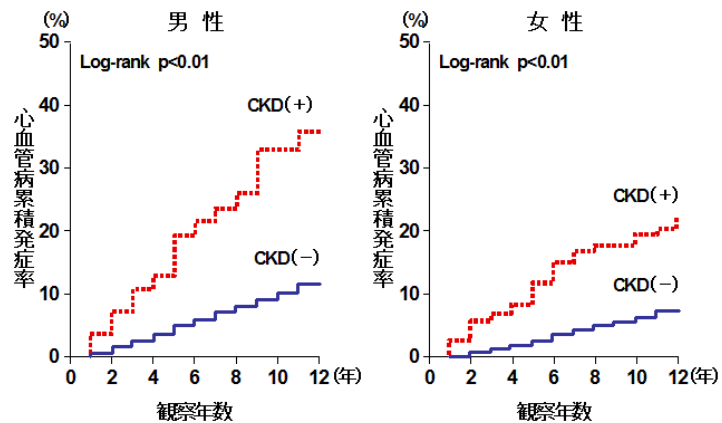


図1. CKDの有無別に見た心血管疾患の累積発症率

### ● 透析療法導入者の原疾患と検尿異常

図2は腎臓の機能が廃絶して透析療法が必要となった患者さんの原因別のグラフです。一番多いのが糖尿病による糖尿病性腎症、次が腎臓特有の疾患である慢性糸球体腎炎、その次が高血圧症・動脈硬化による腎硬化症です。

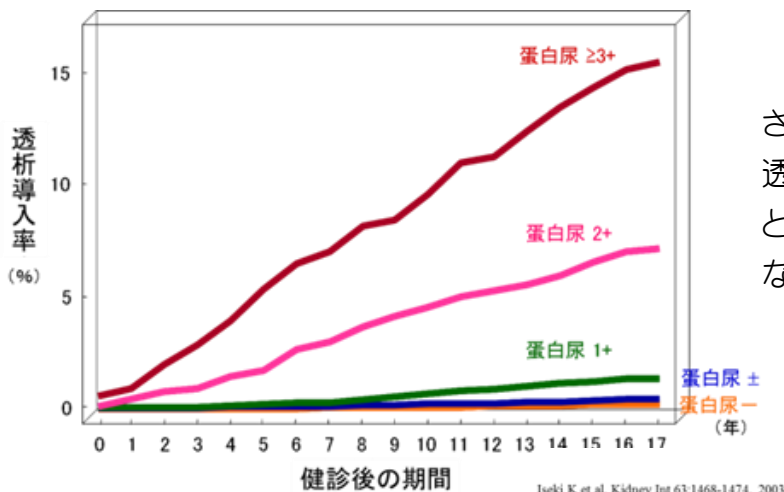
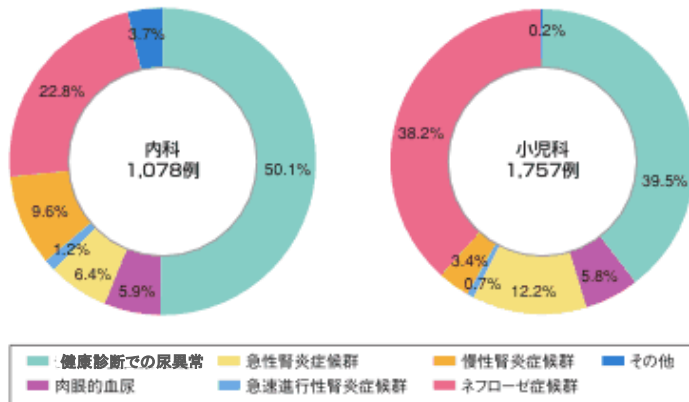
糖尿病は血液検査でも調べることはできますが、進行して腎臓の障害まで出ているかを調べるには検尿が必要です。



図2. 原疾患別に見た新規透析導入者の推移

また図3になります。2番目に多い慢性糸球体腎炎に関しては、発見のきっかけの約半数は検尿異常になっており、検尿をしないと病気の存在に気がつかないことになります。

図3. 糸球体腎炎発見のきっかけ



さらに図4を見ると蛋白尿が多い患者さんほど透析が必要になるリスクが高いことが分かるかと思えますので、蛋白尿が多い人ほどより厳格な治療が必要になります。

図4. 蛋白尿レベルと健診受診後の透析導入率

図5は腎臓の機能を表すGFRの値(数字が低いほど機能が低下している)と尿蛋白の評価法のひとつである尿アルブミンの量が心血管疾患のリスクとどのように関連するかを表していますが、同じ腎機能でも尿アルブミン(尿蛋白)が多いほどリスクが高いことがわかります。つまり腎機能の低下も蛋白尿の存在も心筋梗塞や脳卒中のリスクを増大させ、場合によっては日常生活や生命に関わる病気を発症するかもしれないのです。

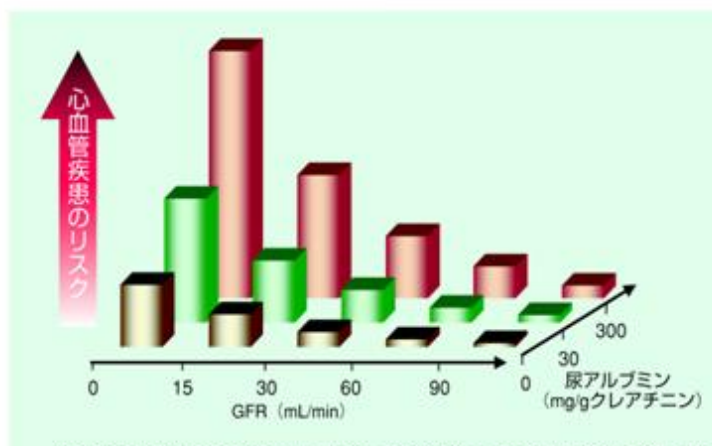


図5. GFR, 微量アルブミン尿別の心血管疾患危険度の予想

腎臓は沈黙の臓器と言われてています。それは自覚症状がなかなか出ない、つまり何らかの症状が出たときは既に高度の機能障害になってしまっているというのが特徴です。また、残念ながら腎臓は再生ができていく臓器であり、すでに機能低下が起こってしまった場合は元に戻すことが困難なことがほとんどであるというのも特徴になります。そこで、腎臓の機能が低下する疾患の存在をいち早くとらえることができる可能性があるのが検尿です。

まとめになります。腎臓の病気は自覚症状が出にくいので、検尿などの検査をしないとわかりません。進行すると非常に怖い病気ですが早期発見により、原因に対する治療をすることで腎機能の低下は防ぐことができます。自覚症状がなくても検尿異常があった場合は専門医に相談することをおすすめします。

## ◆ 健康増進センタースタッフ紹介 Vol. 2

健診支援課・サービス課  
次長

今里 孝宏

当センターの理念「**受診者の健康を支援し、  
活力のある地域社会の実現に貢献します。**」  
のもと**質の高い人間ドックおよび健康診断**  
が皆様に提供できるよう、職員一同、力を合わせて  
取り組んで参ります！何なりとお申し付けください！

健診サービス課  
係長

竹谷 美智子

人間ドック・各種健康診断の**予約受付**、  
企業・健康保険組合との**契約内容確認等の業務**や  
窓口での受診者**受付対応**や**結果処理**などを  
行っております。  
料金や内容についてのご質問等がございましたら  
いつでもお声掛けください。

健診支援課  
主任

田口 久美子

健康管理においてのお手伝いをさせていただきます。  
御利用されている方の**ライフスタイル**に沿った  
健康管理プランと一緒に考えます。  
**予約制**となりますが、健康相談としてお気軽に  
御利用下さい。

健診支援課  
アテンダントエスコート

原 佳代子

私たちアテンダントは、おもに**受診者様の計測や  
乳がん検診のご案内**をさせて頂いております。  
受診者の皆様に気持ちよく検査を受けて頂けるよう  
心掛けてまいります。  
ご不明なことや、ご質問など何かございましたら  
遠慮なくお申し出くださいませ。

## ◆ 人間ドック専用ラウンジ運用開始について

本年4月より、人間ドックのサービスにおきまして、人間  
ドック専用ラウンジを開設し、運用を開始いたしました。  
これまで、同じ施設内の共有フロアをご利用いただいてい  
ましたが、今回より、専用スペースでゆったりと寛いでいた  
だけます。

昼食につきましては、株式会社庄屋フードシステムの  
百菜と提携し、健康を意識し、季節を感じるようなメニュー  
構成で食事サービスを提供させていただきます。

利用者の皆様からは特別な時間をいただきますので  
健診施設と委託業者が協力し、満足と安心を提供できる  
サービスを目指して、取り組んでいく所存です。

今後とも、引き続きご愛顧いただきますよう、宜しくお願  
い申し上げます。



和食膳と洋食膳をご用意しています



## 佐世保中央病院 健康増進センター 基本理念と基本方針

## 【基本理念】

受診者の健康を支援し、活力のある地域社会の実現に貢献します。

1. 生活習慣病の早期発見と予防の啓発に努め、健康の維持・増進をサポートします。
2. 検査技術や診断機器の精度向上を常に心がけ、質の高い検診を提供します。
3. 特定健診・保健指導を通して、受診者のライフスタイルを考えた継続的な支援を行います。
4. すべてのスタッフが相互に協力・連携して、受診者の皆様に満足いただけるサービスを提供します。
5. 健診業務で得られた個人情報の守秘義務と、受診者ご自身の知る権利を遵守します。

## 健康増進センター 診察担当医

	月	火	水	木	金
午前診察	常勤医 : 非常勤医 :	中尾・寺園・本多・永尾 田中・石田			
午後診察	※ 毎日3~4名の医師が担当いたします				
乳がん検診	佐々木	内田	佐々木	碓	鎌尾
婦人科検診	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸

## 健診に関するご予約・お問い合わせについて

☆健診をご希望の方は、**完全予約制**になっておりますので、健康増進センター窓口にお越し  
いただくかお電話でのご予約をお願い致します。

## ○お問い合わせ時間

月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

○休診日 土・日曜日、祝日 8月14日～15日（夏季） 12月30日～1月3日（年末年始）

## 【健康増進センター直通】

電話番号 (0956)33-5335

FAX番号(0956)33-5336

メールアドレス sch-kenkoh@hakujujikai.or.jp

\*ただし、メールでのお申込は受け付けておりません。

ホームページ <http://www2.hakujujikai.or.jp/chuo/health/index.html>



## 編集後記

桜の花びらも散り、新緑の季節となってまいりましたが、まだまだ日中の気温差があります  
ので、ご自身の健康管理にはご留意ください。

今回は、健康診断における“検尿”の必要性について、専門医師より報告しましたが、今一度ご  
熟読いただき、現在の受診結果について、ご確認いただきますようお願いいたします。

健康ワンダーランドの次回発行は、本年7月を予定しています。どうぞご期待ください。

